



こんにちは 朝晩の冷え込みが厳しくなってきましたね。今年はどうな冬になるのでしょうか。

おてて絵本にチャレンジ

8月下旬に開催した、「学校図書ボランティア等研究会」。そのなかで、講師の佐藤 敦士先生 (県立生涯学習推進センター 生涯学習部長) から、「おてて絵本」のお話がありましてこので紹介いたします。 佐藤先生が設立した「おてて絵本普及協会・岩手県支部」では、随時会員募集中です！

おてて絵本とは？

おてて絵本は、絵本作家のサトシンさんが発案した、両手を絵本に見立てた親子遊び。大人が誘導し、子どもがお話を創作していく「お話ごっこ」です。

おてて絵本の遊び方

Let's Try!

① おてて絵本をはじめましょう。

「おてて絵本だよー」と言いながら、両手のひらをくっつけ、おてて絵本のカタチにし、パタパタ開閉してみせます。

ほん ほん ほん！



② お手本を聞かせましょう。

初めての 場合は、
「おかあさんのおててに見えるお話を読んでみようね。おかあさんからやってみるね」と、大人がお手本を見せます。ひと段落することに、絵本をめくるように、手を開閉します。(ストーリーは思い付きでOK)

③ 主人公を決めましょう。

よいよいは子どもの番です。
「それじゃあ、今度は○○ちゃんか読んでね。おてて絵本を開いて、何が見えるかな？何が見えるか聞くことで、想像をかきたて、お話の主人公を決めることができます。お話決めのお手伝いや、さ、かけ作りをしましょう。

④ 子どものお話を聞かせてもらいましょう。

「わあ！そのお話聞きたーい」子どもにお話を始めてもらい、

下品だったり、残酷だったりするかもしれませんが、それでも子どもの発想力を大切に、全てを肯定し、受け入れながら聞きましょう。

⑤ お話：合いの手を入れましょう。

「合いの手」を上手に使うことが、この遊びの **ポイント** です。
*「そっかー、すごいー」(承認)
*「うんうん、なるほど」(傾聴)
*「○○なんだね」(オウム返し)
*「それでどうなったの？」(オプティミスティック)
など、反応にメリハリをつけましょう。お話の切れ目で、次のページを促します。

⑥ お話を結末に向かわせましょう。

「それで、最後はどうなったの？」子どもの力、集中力、時間などの様子を見て、お話を結末に向かわせます。



⑦ 楽しかった気持ちを伝えましょう。

「とっても楽しかったよ！ありがとう!!」
聞かせてくれたお話の感想を言って、ぎゅーと握手。

⑧ お話を記録しましょう。

おもしろい話ができて、忘れないうちにメモ
そのお話をもとに絵本を作ってみてもステキですね！

おてて絵本のスライクゾーンは、2～10歳。しかし、絵本に慣れていないと、少し難しいかもしれません。10月27日から11月9日は **読書週間** です。今年の標語は『いざ、読書。』いざ、読書聞かせ。いざ、おてて絵本。次号は11月2日発行予定です。

家庭教育情報通信「はぐ便り」2016年10月号(通号第39号)
平成28年10月20日発行

発行者・問い合わせ先：盛岡市教育委員会生涯学習課
住所 〒020-8532 盛岡市津志田14-37-2
TEL 019-639-9046(直通) FAX 019-639-1516
メール edu.sgs@city.morioka.iwate.jp
●バックナンバーは市のホームページで見ることができます。